

～ 会議開催結果の概要 ～

1. 作成日	令和8年5月28日（木）
2. 会議名	第3回海南市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会
3. 開催日時	令和8年5月28日（木）午後1時30分から午後2時45分まで
4. 開催場所	海南市役所3階 会議室3A
5. 議題及び結論	1. アンケート調査の集計結果について 2. 海南市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画の進捗状況について 3. 海南市高齢者福祉計画及び第10期介護保険事業計画の概要について 4. その他
6. 発言の内容	議題1 アンケート調査の集計結果について ◆委員からの質疑 ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査報告書のP.11に、認知機能の低下している90歳以上の割合が81.8%とあるが、全体平均は前回調査より1.8ポイント減少しており、いいことである。海南市は認知症の取組に力を入れてくれている。 ②リスクの発生状況において南部圏域がやや高い状況のようである。今後のアプローチについて何か検討が必要ではないか。 ③在宅介護実態調査の結果で、介護による離職が減っていることはすごくいいことであると感じている。仕事と介護の両立について、海南市が行っている施策や支援を教えてほしい。 （事務局） 地域包括支援センターでは、夜間相談を月2回、日曜日相談を月1回行っており、仕事で平日の相談が難しい方をサービスに繋げ、介護の負担を減らすことで離職を防止する取組を行っている。 ④外出同行や移送サービスなど、これから益々必要となるサービスで、海南市では移動支援ボランティアに力を入れているという認識がある。外出同行や移送サービスなどについての現状を教えてほしい。 （事務局） 社会福祉協議会が中心となって、外出支援の有償ボランティアとして北野上地区と亀川地区で、研修を受けたボランティアが1回400円でスーパーなどへの送迎を行っている。（事務局） 議題2 海南市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画の進捗状況について ◆委員からの質疑 ①入院患者への支援は多くの病院で行われているが、外来患者への支援は十

	分でないと感じている。もっと早くから適切な支援ができていれば入院に至らなかったケースもある。 (事務局) 権利擁護センターや移動支援など、介護事業所やケアマネジャーに周知をすることが多かった。今後は地域ケア推進会議において、病院向けにも様々な制度の周知を図る。 ②入院患者には退院のこともあるので手厚いが、外来はマンパワーが足りない。早い段階で支援できれば、簡単なサービスで対応することができ、費用も抑えられると思う。 ③権利擁護センターの制度についての研修会は、介護支援専門員連絡協議会や作業所、市役所関係職員に行っているが、地域連携室や市内金融機関などへはパンフレットの配布のみとなっている。乗ってって海南については立ち上げに注力している状況であり、十分な周知はできていない。どちらの事業も立ち上げから1年程度であるため、これからも充実できるよう取り組んでいく。 ④資料1のP.15、介護予防短期入所療養介護と介護予防特定施設入居者生活介護については計画よりも多く利用されている。この要因は把握しているのか。 (事務局) 把握できていない。 ⑤一人暮らしの高齢者が増えてきている。また、体操等への参加状況を見ると住民の介護予防への関心も高まっているように感じる。逆に老人クラブの会員が減ってきているが、選択肢が広がってきたのかもしれない。計画の中で老人クラブだけに注目するのか、他の活動にも着目するのか、次期計画で検討していかなくはないのかもしれない。 議題3 海南市高齢者福祉計画及び第10期介護保険事業計画の概要について ◆委員からの質疑 ①計画を策定するに当たり、県はどのように関わってくるのか。 (事務局) 毎年、事業の進捗状況等のヒアリングがあり、その中で様々な意見や提言が出される。 議題4 その他 今後のスケジュールについて 質疑等なし
7. 備 考	